

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	福祉課			
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力		
分野別方針	(12) 人権・平和の推進		実施計画事業	2) 平和推進事業 (No.49)		
予算等事業名	平和祈念事業					
目的	平和に関する事業を実施することにより、平和に対する町民一人ひとりの意識高揚を図る。					
内容	平和を祈念し、戦没者の冥福を祈るため、戦没者遺族等参列のもと式典として挙げる。					
根拠法令・条例等	—					
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

## 総合評価

実績	—				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	参加者数				
前期(27年度)目標値	—			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	—	
	—				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		318	312				
財源内訳	一般財源	318	312				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 平和を祈念し、戦没者のご冥福を祈るための事業であるため。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 遺族会を含む町民全体に平和祈念の意識啓発を行うため。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 平和記念祭の広報、実施により平和祈念への意識啓発が図られている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 必要最低限の費用に抑えて実施している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 事業の継続により町民の平和祈念への意識啓発が図られている。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	平和祈念の意識啓発や戦没者のご冥福を祈るため、今後も継続して実施する。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町の責務として戦没者の追悼と平和に対する意識高揚を継続して図っていく必要がある。		
今後の方向性	同様に継続して実施する。		